

「お茶の水看護学雑誌」投稿規程

1. 投稿は、共著者を含めて、お茶の水看護学研究会会員に限る。
2. お茶の水看護学雑誌は、看護ならびに看護に関連する事象を対象とした原著論文、短報、事例報告、総説を掲載するほか、編集委員会が適当と認めた記事を掲載する。
 - (1) 原著論文：新知見があり独創的で理論的または実証的な研究成果を内容とし、目的、方法、結論、考察について明確な論文。
 - (2) 研究報告：原著論文に及ばないが、研究として意義があり、看護学の発展に寄与すると認められるもの。
 - (3) 短報：独創的な研究の短報。臨床や教育現場に何らかの示唆をもたらす、発表の価値が認められるもの。
 - (4) 事例報告：個人、集団、地域の事例の検討で一般化は難しいが検討に値する結果が認められるような研究、あるいは1施設における新しい試みについての報告、臨床看護実践の報告など。
 - (5) 総説：看護学に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見・文献をレビューして集約し、そのテーマについて総合的に学問的状况を概説し考察したもの。システムティック・レビューやメタアナリシスが望ましい。
3. 原稿は、A4判の白紙に横書きで、上下を約2.5cmずつ、左右を約3cmずつあける。原文と複写2部、計3部を投稿する。原稿の構成は表紙、要旨、本文、引用文献表、表、図の順とする。初回投稿時は、「投稿資格確認書」1部と「投稿論文チェックリスト」1部を原稿と共に提出する。
 - (1) 表紙：原稿種別・表題・著者名・所属を和文と英文で記入し、図表の数、希望別刷部数（50部単位）連絡先（郵便番号、住所、所属、電話およびファックス番号、e-mailのアドレスなど）を必ず記入する。
 - ・表題は、論文の内容を表記した簡潔で明瞭な表題（40字程度）とする（“...の研究”というような大雑把な表記は避け、新事実を明瞭に表記する）。
 - (2) 要旨：和文論文の場合は和文と英文の要旨の両方を作成する。読者が一読して論文の趣旨が明確にわかるものとし、和文は600字以内、英文は同内容で300 Words以内とする。
 - ・Key Word：英語を原則とし、Index Medicusのsubjectsにあるもので5項目以内を用意する。固有名詞以外は小文字とする。
 - (3) 本文：文章は現代かなづかいにしたがって平仮名混じりとする。
 - ・改行は1字下げ、大見出しは、 、 、 …、中見出しは1、2、3、小見出しは、 、 、 …、細見出しはa、b、c…とする。
 - ・外国語は、原語もしくはカタカナで書き、原語の場合は小文字（固有名詞やドイツ語の頭文字は大文字）とする。普通名詞は文頭に限って大文字とする。外国語の原語綴は行末で切れないようにする。変換できない文字や記号は手書きで明瞭に書き入れる。
 - ・略語は各分野を通じて周知のもの以外は使わない。
 - (4) 文献：本文中に引用された順とし、引用箇所(肩1)の番号をふる。文献表は本文とは別のページから開始する。雑誌名の省略は、医学中央雑誌およびIndex Medicusに準ずる。著者や編者は6名までは全員、6名以上は最初の3名を記載し、et al.とする。

例)

* 原著

- 1) 鈴木太郎, 山田花子. 糖尿病性神経障害の発生機序について. 糖尿病. 2017; 29:975-82.
- 2) Suzuki T, Yamada H. A study of mechanisms causing diabetic disorders of peripheral neurons. Diabetes. 2018; 29:975-82.

* 著書(分担執筆)

- 3) 鈴木太郎, 山田花子. 糖尿病性神経障害, 小島次郎編 糖尿病, 大学出版, 東京, 2012; 975-982.
- 4) Suzuki T, Yamada H. Diabetic disorders of peripheral neurons. In “Diabetic mellitus” ed (s). Kojima J. University Press, Tokyo, 2014; 975-82.

* 著書

- 5) 鈴木太郎, 山田花子. 糖尿病性神経障害, 大学出版, 東京, 1986.
- 6) Suzuki T, Yamada H. Diabetic disorders of peripheral neurons, University Press, Tokyo, 2016.

* Web Page

- 7) Kaul S, Diamond GA. Good enough: A Primer on the analysis and interpretation of noninferiority trials. Ann Intern Med [Internet]. 2006; 145(1):62-9 Available from: <http://www.annals.org/content/145/1/62.full.pdf> Accessed March 3rd, 2018.

英語雑誌名の略称は NLM Catalog

(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) を参照のこと。

- (5) 図表：図、表は別紙に書き、図 1、表 1 と必ず番号を記し、挿入場所を本文に指定する。写真以外の図は必ず黒インクまたはそれに相当するもので書く。図、表のタイトルは図では図の下に、表では表の上に明記する。不正確、不鮮明な図については、当方にてトレースし、その費用は著者の負担とする。図、表は最小限とする。
- (6) 長さ：原著論文、研究報告、総説の長さは指定しない。短報、事例報告は組み上がり 4 頁以内とする（字数にして 6,400 字分）。400 字詰原稿で図、表、要旨を含めて 15 枚程度が目安となる。なお、図、表は簡単なもので 1 枚あたり 400 字詰原稿用紙 1 枚程度、やや複雑になると原稿用紙 2~3 枚に相当する。
4. ヒトおよび動物を対象とする研究は、倫理的配慮を行い、その旨を本文中に明記する。主となる研究者が所属する施設あるいは対象が所属する施設の倫理委員会の承認を得て、承認番号を記載すること。
5. 論文の採否は編集委員会が決定する。掲載は採択順とする。特別掲載については別途考慮する。
6. 原稿の校正は、初校は著者が、2 校以後は著者校正に基づいて編集委員会が行う。なお校正の際の加筆は一切認めない。
7. 印刷費は著者負担とし、仕上がり 1 ページあたり 4,000 円とする。ただし、これらは目安であり、変動する可能性はある。別刷印刷の必要な場合は著者負担とする。別刷印刷は 50 部を単位とする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は、お茶の水看護学研究会に帰属する。

9. 印刷工程の効率向上を図るため、受理が決定した最終稿を入力した電子媒体（USB、CD-R 等）を印字原稿と共に提出する。入力テキスト形式で行う。使用したパソコンのOS、ワープロソフトを著者名、略題とともにラベルに記載する。
10. 投稿原稿は、査読者および編集委員会の意見を踏まえて修正を求められることがある。なお、査読者は編集委員会が指名する。ただし、投稿する原著論文により東京医科歯科大学大学院の学位申請をする予定の者は、投稿に際して、指導教員に「査読者の推薦状」の記入を依頼し、厳封のうえ編集委員会に提出する必要がある。
11. 編集委員会が修正を求めた投稿原稿は、通知日から 90 日以内に限り再提出を受け付ける。90 日を経過しても連絡がない場合は、投稿を取り下げたとみなす。ただし、正当な理由がある場合はこの限りではない。

付則：本規程は平成 18 年 6 月 3 日より施行する。

- 1) 平成 23 年 1 月 28 日 一部改正実施する。
- 2) 平成 29 年 3 月 31 日 一部改正実施する。
- 3) 平成 30 年 3 月 30 日 一部改正実施する。
- 4) 平成 31 年 3 月 30 日 一部改正実施する。
- 5) 令和 4 年 10 月 30 日 一部改正実施する。